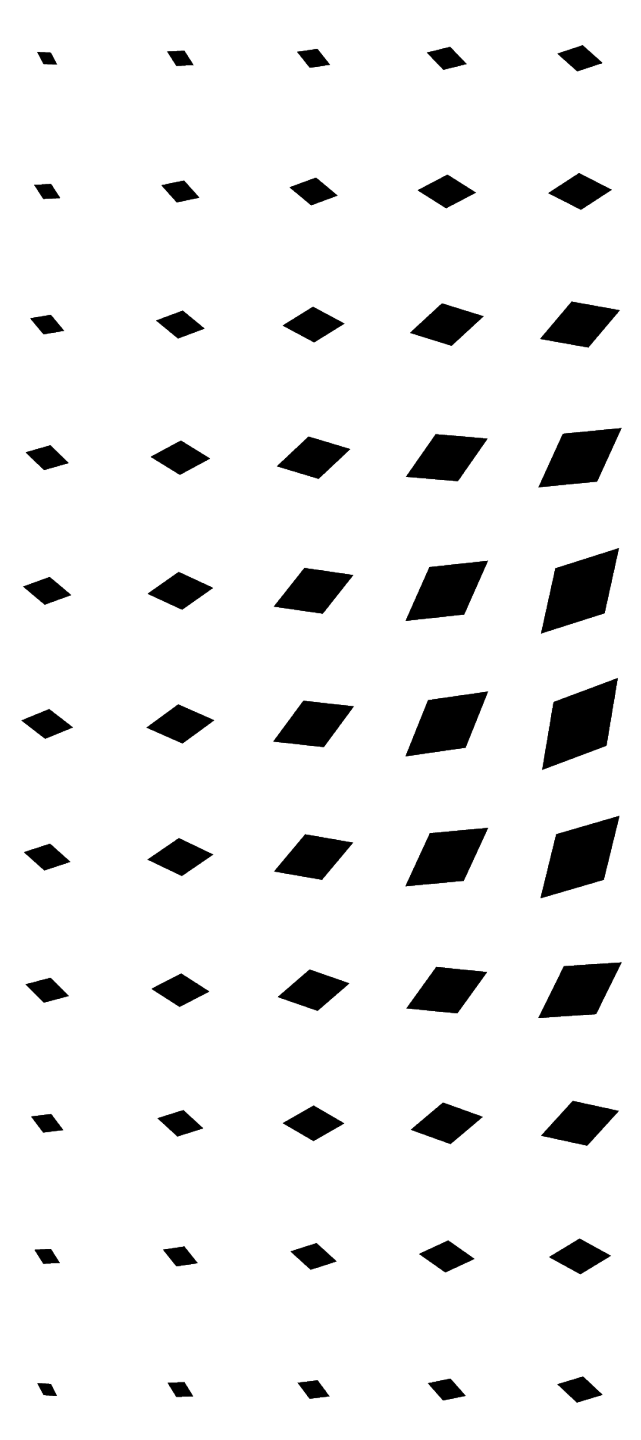


FAシステム事業 2026

三菱電機株式会社

2026/05/29



目次

1. FAシステム事業 新中期事業戦略	3
2. 重点施策	5
3. 財務目標 及び 関連指標	10

1

FAシステム事業 新中期事業戦略

FAシステム事業 新中期事業戦略

オートメーション技術に現場データとAI・デジタル技術を掛け合わせ、先進的なソリューションでインダストリーを革新
事業ポートフォリオ変革による事業成長の加速と安定的な収益基盤を構築

重点施策

FAデジタルソリューションによる生産現場の革新

- 先進技術により自律的に経営課題を解決する革新的な生産現場を実現
- AIエージェント・Physical AIを用いた実証を加速し省人化・無人化を実現

オートメーション技術で高度な自動化を実現

- 制御・駆動に加え、AIやセキュリティなど差別化技術で顧客価値を創出
- 重点市場である中国では、現地での自律経営を推進し競争力を強化

30年度財務目標

	売上高	調整後営業利益率
FAシステム事業	0.9兆円	16%+
	売上高CAGR*1	調整後営業利益率
FAデジタルソリューション事業	25%+	19%+

*1 CAGR:25年度を起点

2

重点施策

FAデジタルソリューションによる生産現場の革新

Serendie[®]の活用とAI・デジタル技術の掛け合わせで、自律的に経営課題を解決する生産現場へ革新

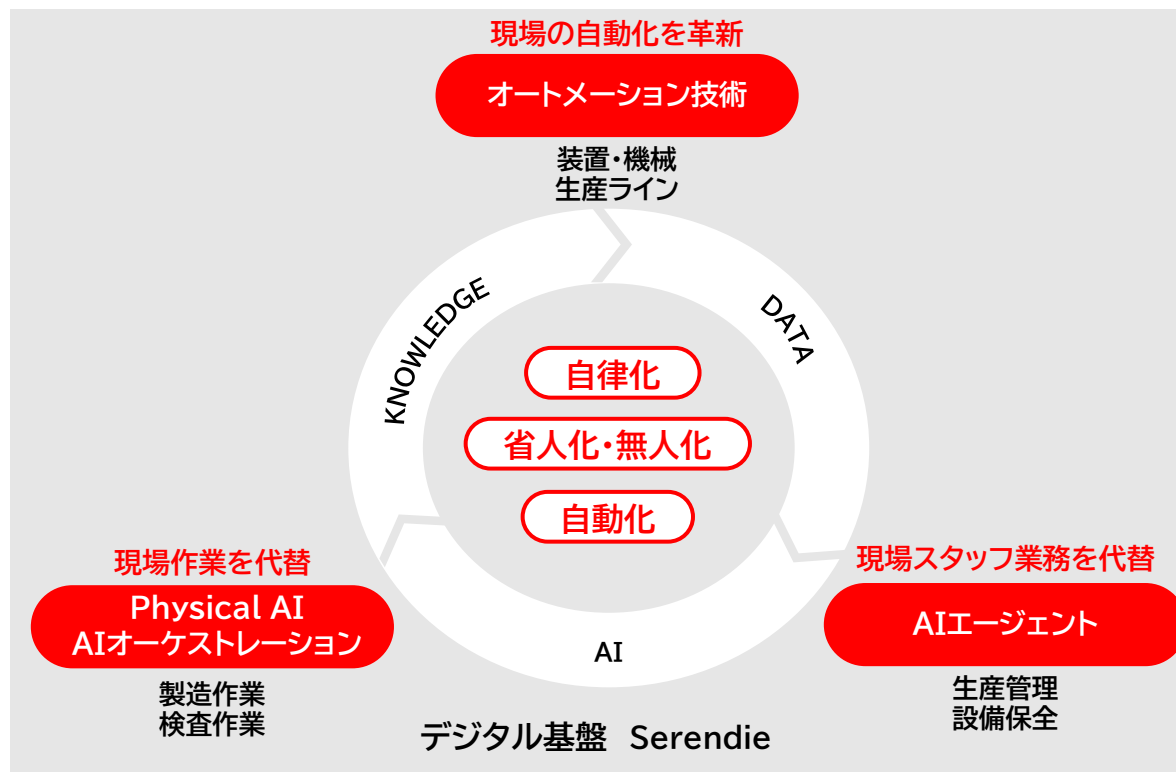
顧客の経営課題

- 労働者、生産技術者の減少及び熟練者の不足
- 素材コストの上昇、ヒトモノ管理などに対する運用コストの増加
- 需要変動への対応、多品種少量生産対応など生産性の改善

これまで

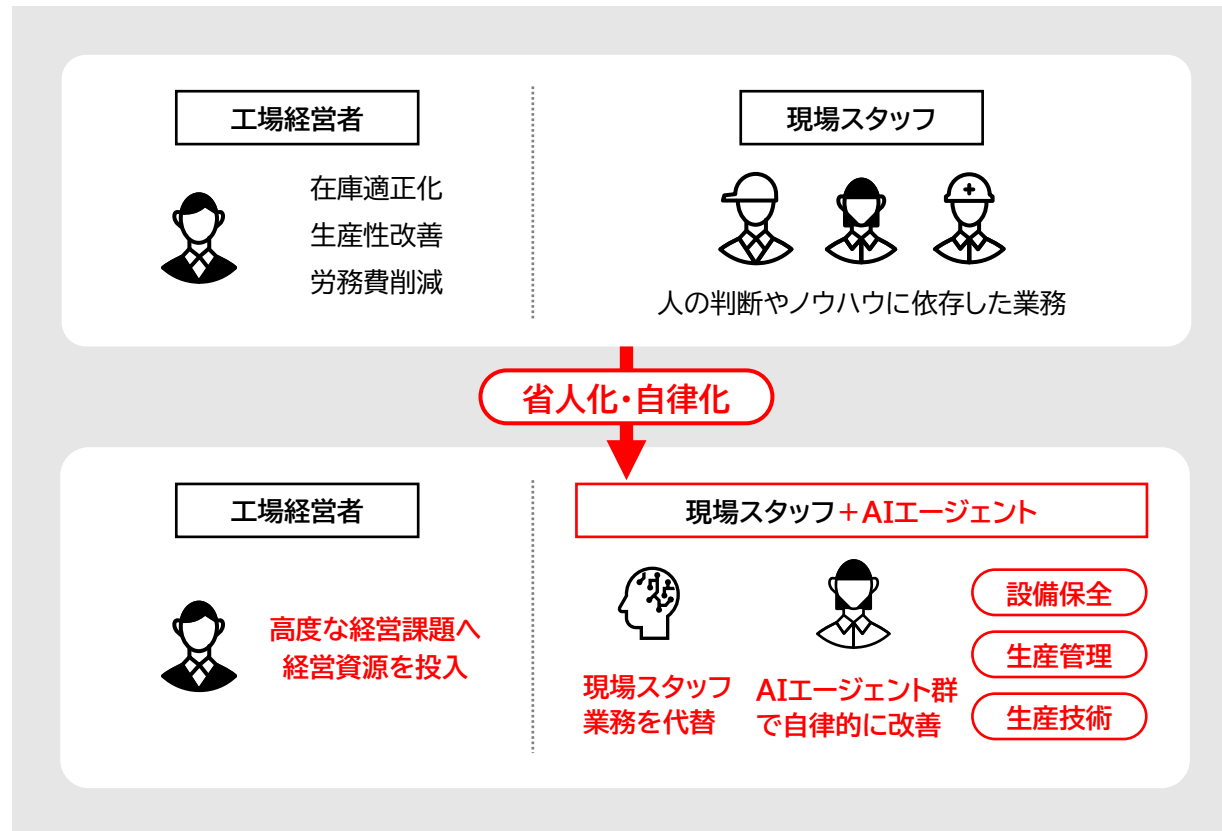


これから



重点施策 | FAデジタルソリューション(1/2)

現場スタッフ業務や作業を代替する新たなソリューションをAI技術と当社生産現場を活用し早期に開発



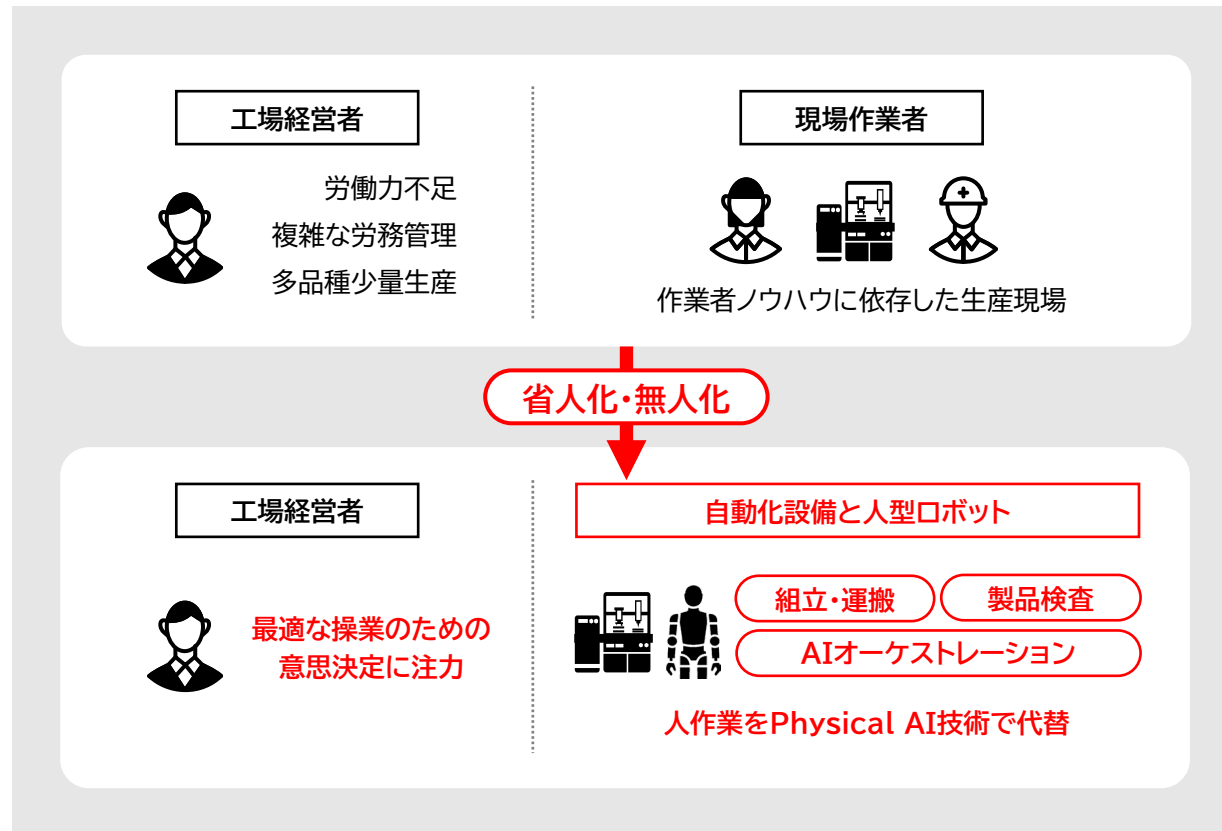
現場スタッフ業務を省人化し自律的に経営課題を解決

AIエージェントに関する取組み

- 設備保全・生産管理向けSaaSアプリ・AIエージェントの提供
 - 保全業務の効率化を実現するSaaSアプリ(26年5月より順次)
 - 人・需要に応じた生産計画の最適化
 - モノ・情報の流れを可視化し、工程のボトルネックを分析
- システムインテグレーションの効率化と生産性の向上
 - 生産技術ノウハウを実装したAIエージェント群の開発
 - AIによる自律的な課題抽出と改善
 - デジタルツインによる製造ラインの迅速な立上げと改善

重点施策 | FAデジタルソリューション(2/2)

現場スタッフ業務や作業を代替する新たなソリューションをAI技術と当社生産現場を活用し早期に開発



現場作業を代替する無人化生産の実現

Physical AI技術に関する取組み

- 自動化設備の高度化に向けた匠レベルのAIチューニング技術の開発
- 技術パートナーとの人型ロボット用Physical AIモデル開発
 - 自社製造工場の組立・運搬ラインで技術パートナーと実証中
- ヴィスコ社技術や自社AI技術を活用したAIビジョン検査

AIオーケストレーションに関する取組み

- 人作業ミスをリアルタイム検知・フィードバックするアシストAIの開発
- 自動化設備のダウンタイム削減を可能とするトラブルシューティングAIの開発

重点施策 | オートメーション技術で高度な自動化を実現

高度化・複雑化する現場の自動化ニーズに対応するため、当社の差別化技術で新たな価値を創出
重点市場である中国市場では、環境変化へ即応する現地完結型の自律経営で事業競争力を強化

差別化技術による自動化の革新

提供価値	高速・超精密制御	保守運用の最適化	開発サイクル高速化	セキュアなデータ管理	サステナビリティ	
差別化技術	先端技術による装置の革新と省資源の実現 <ul style="list-style-type: none"> ● 制御・ビジョン・通信による超高速同期で装置を先鋭化 業界初 ● 加工誤差のリアルタイム補正による品質安定化と生産性向上 ● 独自の回路印刷技術でプリント基板工程の省資源化を実現 <ul style="list-style-type: none"> - 環境負荷低減 銅使用量: ▲70% 水使用量: ▲95% (当社試算) ● AI・デジタル技術によるエンジニアリングの革新 <ul style="list-style-type: none"> - プログラム作成時間: ▲30% 解析時間: ▲70% (当社試算) 			OTセキュリティ技術による堅牢な生産現場の実現とデータ活用インフラの提供 <ul style="list-style-type: none"> ● システム構築に必要な幅広い製品でセキュリティ規格・機能へ対応*1 <ul style="list-style-type: none"> - IEC62443-4-2規格対応 中国サイバーセキュリティ法対応 Nozomi社のセキュリティ技術のFA機器への搭載とネットワーク監視 		
	 シーケンサ			 HMI*2		 サーボ
			 CNC*3			

自律経営による中国FA事業の競争力強化

コンポーネント開発・拡充

- 中国FA統括会社*4 主導によるローカルブランド機種開発・拡充
 - サーボモータ、インバータ 中国市場展開

現地開発力強化

- 産学共同研究による中国顧客ニーズに対応する要素技術開発
- 人型ロボット用Physical AIモデル開発と実証加速

*1 セキュリティ規格・機能へ対応:26年度より順次対応予定 *2 HMI(Human Machine Interface) : 表示器 *3 CNC(Computerized Numerical Controller) : 数値制御装置
*4 中国FA統括会社:三菱電機智能製造科技(中国)集团有限公司

3

財務目標 及び 関連指標

財務目標・関連指標

財務目標

	25年度実績				26年度見通し			30年度目標		
	売上高 (億円)	調整後 営業利益 (億円)	調整後 営業利益率	ROIC	売上高 (億円)	調整後 営業利益 (億円)	調整後 営業利益率	売上高	調整後 営業利益率	ROIC
FAシステム事業	7,982	752	9.4%	7.4%	8,650	1,020	11.8%	0.9兆円	16%+	14%+
	151円/US\$ 176円/Euro 21.4円/人民元				150円/US\$ 175円/Euro 21.5円/人民元			140円/US\$ 160円/Euro 19.5円/人民元		

関連指標

	25年度実績	26年度見通し	30年度目標
FAデジタルソリューション 売上高CAGR*1	—	10.0%+	25.0%+
FAデジタルソリューション 調整後営業利益率	(事業立ち上げ期間)	4.0%+	19.0%+

*1 CAGR: 25年度を起点

本資料に記載されている三菱電機グループの業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと大きく異なることがあります。

なお、業績等に影響を及ぼす可能性がある要因のうち、主なものは以下のとおりですが、新たな要因が発生する可能性もあります。

- ① 世界の経済状況・社会情勢及び規制や税制等各種法規の動向
- ② 為替相場
- ③ 株式相場
- ④ 資金調達環境
- ⑤ 製品需給状況及び部材調達環境
- ⑥ 重要な特許の成立及び実施許諾並びに特許関連の係争等
- ⑦ 訴訟その他の法的手続き
- ⑧ 製品やサービスの品質・欠陥や瑕疵等に関する問題
- ⑨ 地球環境(気候関連対応等)等に関連する法規・規制や問題
- ⑩ 人権に関連する法規・規制や問題
- ⑪ 急激な技術革新や、新技術を用いた製品の開発、製造及び市場投入時期
- ⑫ 事業構造改革
- ⑬ 情報セキュリティ
- ⑭ 地震・津波・台風・火山噴火・火災等の大規模災害
- ⑮ 地政学的リスクの高まり、戦争・紛争・テロ等による社会・経済・政治的混乱
- ⑯ 感染症の流行等による社会・経済・政治的混乱
- ⑰ 当社役員・大株主・関係会社等に関する重要事項

